LSS-MRW　V01

Network Storage System

LSS-MRWシリーズ●

ネットワーク・ストレージシステム
ハードウェア マニュアル

Logitec

目　次

第１章　製品のご紹介

１．１　製品の概要

本製品は、既存のEthernetネットワークに簡単に接続できるネットワークストレージシステムです。ネットワークに直結し、簡単な設定を行うだけで、すぐにネットワーク上でファイル共有ができます。また、インターネットブラウザによるリモート管理が可能です。
本製品に搭載されているミラーリングディスクユニットは、ホットスワップに対応しているので障害時にも電源を落とさずに交換する事が可能です。
本製品はOSにMicrosoft® Windows Server™ 2003ベースのMicrosoft Windows® Storage Server 2003を搭載しておりますので、特にWindowsクライアントとの親和性を高いレベルで実現しています。

Point　ポイント

本書では本製品各部の名称や機能、本製品をご使用にあたっての環境条件、接続方法、障害からの復旧手段等について説明しております。接続後の設定やデータのバックアップの方法については「ソフトウェアマニュアル」をご参照ください。

■NAS(Network Attached Storage)とは

○ NASとはNetwork Attached Storageの略で、ネットワークに接続するストレージユニットです。ネットワークに接続することにより、複数のユーザーがストレージを共有することができます。

○ 複数のネットワークプロトコル、ファイルシステムに対応していますので、異種OS間のデータ共有を実現することができます。

○ インターネットブラウザを利用した管理Web UIにより作業が行えますので、装置のそばにいなくても装置のリモート管理が可能です。また、ストレージとネットワークに特化した管理なので、いわゆるネットワークサーバなどの専門知識が無くとも運用できます。

■本製品の特徴

○ 本製品はMicrosoft Windows® Storage Server 2003を搭載したネットワークストレージユニットです。本製品上のストレージをネットワーク上のクライアントPCが共有する事ができます。また、ユーザー管理によりフォルダ毎に各ユーザー/グループにアクセス権の設定を行うことができます。

○ 各管理機能はインターネットブラウザからのWeb UIによる操作でリモート管理が可能です。

○ Microsoft® Windows Server™ 2003をベースにしたプラットホームですので、Windowsクライアントとの親和性も高く、Windowsネットワークでの管理をそのまま引継ぐことができます。

○ SMB/CIFS、AFP、NFS のマルチプロトコルをサポートしていますので、Windows、Macintosh、Linux等の異種OS間でデータの共有が可能です。

○ LSS-MRWシリーズは 2 台のハードディスクドライブを搭載し、ミラーリング機能を搭載していますので、1 台のハードディスクドライブに不具合が発生した場合でも、もう一方のハードディスクドライブに対してデータアクセスが可能です。

○ 本製品はホットスワップ（本製品の電源がONのままハードディスクドライブを交換すること）にも対応しています。1 台のハードディスクドライブに不具合が発生してもシステムを停止することなくハードディスクドライブを交換することができます。

○ 障害やイベントの発生を「E-mail」で通知する機能を搭載していますので、万一の障害発生時にも素早く対応ができます。

○ UPSを接続するためのシリアルポートを搭載しています。本製品で対応するUPS を接続した場合、万一の停電時にNASのシャットダウン処理を自動的に行うことができます。

ご注意

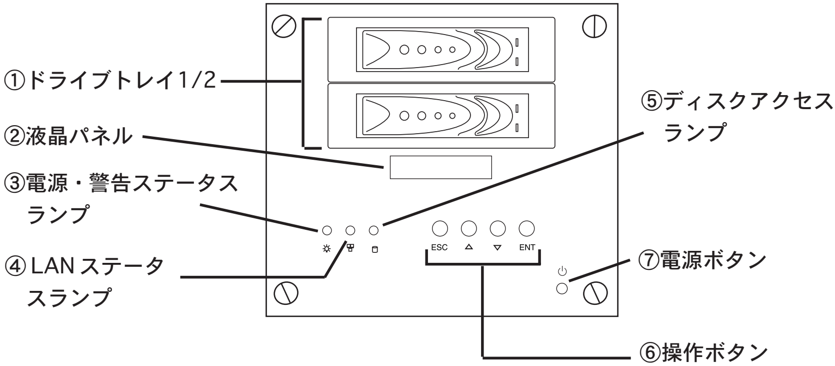
・ たとえミラーリングによりデータに冗長性を備えていても誤操作やソフトウェア的な障害によるデータの消失を防止できるということではありません。データの定期的なバックアップを必ず行ってください。

・ たとえミラーリングを行っていても、複数のハードディスクに同時不具合が発生するとデータは失われます。1台のハードディスクに不具合が発生したら、なるべく速やかに不具合の発生したハードディスクを交換してください。そのため、平常時からスペアドライブを1台ご用意いただくようおすすめいたします

※ スペアドライブの型番については「４．２オプション品について」をご参照ください。

１．２　各部の名称と機能

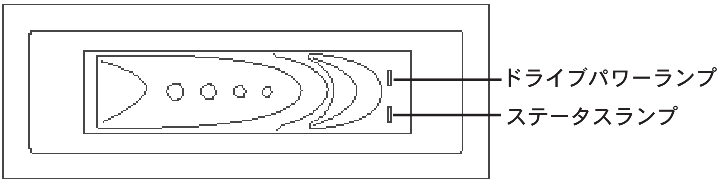
前面部



①ドライブトレイ 1/2

ハードディスクドライブが、１台ずつ格納されています。上が Disk1. 下が Disk2 となります。

各ドライブトレイの状態表示ランプは以下のようになります。



ドライブパワーランプ（上）

本製品が正常に起動し、ハードディスクに問題がない場合は青色に点灯します。ドライブがセットされていないと消灯します。

ステータスランプ（下）

ドライブに障害が発生している場合またはドライブがセットされていない場合に赤色に点灯します。
正常に動作している場合、またはドライブへのアクセスが行われていない場合は、消灯します。

②液晶パネル

通常使用時には本製品の IP アドレスとサーバ名が表示されます。
メニューボタンを使用しているときは、設定メニューが表示されます。

③電源・警告ステータスランプ

システムの状態を青色と赤の LED で表示します。電源が ON になると青色に点灯します。冷却ファンの異常や、プロセッサのオーバーヒートなどの異常が検出された場合、赤色に点灯し警告ブザーがなります。

④ LAN ステータスランプ

ギガビットイーサネットポートのリンク状態を表示します。ポートへの接続が有効になっている場合はLEDが青色に点灯します。データの送受信中にはLEDが点滅します。

⑤ディスクアクセスランプ

本製品内のハードディスクへ読み込み／書き込みアクセスが行われると表示ランプが青色に点滅します。

⑥操作ボタン

液晶パネルと連動し、ネットワークなどの設定を行うためのボタンです。詳しくは「1.3 液晶パネルの表示内容」をご参照ください。

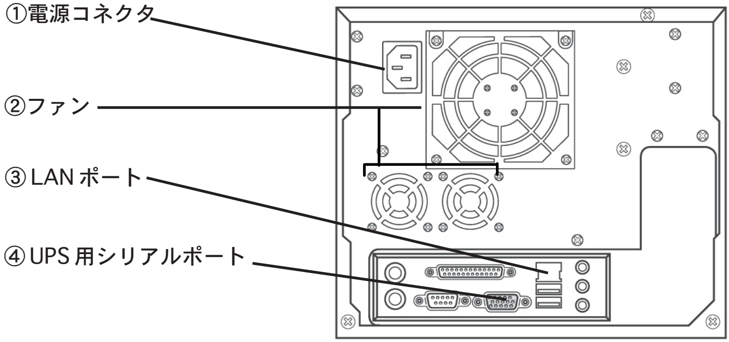


ESC ボタン　　　現在選択されているメニューから一つ前の項目に戻ります。
△ Up ボタン　　　一つ先のメニューに進みます。
▽ Down ボタン　　一つ前のメニューに戻ります。
ENT ボタン　　　現在表示されているメニューを選択します。

⑦電源ボタン

本製品の電源を ON にする場合に使用します。

背面部



①電源コネクタ

付属の電源コードを使用して、AC100V のコンセントと接続します。

②ファン

本製品の内部温度を抑えるための冷却ファンがあります。この部分を物でふさがないでください。

③ LAN ポート

別売の UTP ケーブルで 1000BASE-T/100BASE-TX の Ethernet ハブに接続します。（AUTO-MDI/MDI-X 対応）

④ UPS 用シリアルポート

本製品を UPS（無停電電源装置）に接続する場合、RS-232C ケーブルを使用してこのポートと UPS を接続します。接続に使用するケーブルの種類などは UPS の取扱説明書をご参照ください。

1．3　液晶パネルの表示内容

本製品前面の液晶画面の表示は以下の通りです。
◯液晶ディスプレイメニューアイテム

電源を入れると、以下のように表示されます。

System booting

システム準備が整うと、以下のように表示されます。

LOGITEC NAS	←サーバ名
xxx.xxx.xxx.xxx	← IP アドレス

注：xxx.xxx.xxx.xxx は本製品の IP アドレスが表示されます。

「ENT」ボタンを押すとセットアップメニューから各種設定を行うことができます。

注：xxx.xxx.xxx.xxx は本製品の IP アドレスが表示されます。

Point ポイント

液晶画面の初期設定ではサーバ名と IP アドレスが表示されます。
サーバ名を変更するには以下の 2 つの方法があります。

・WubUI 管理メニューの「開始」メニューから「サーバの設定」オプションを選択する。

詳細については添付 CD-ROM 内のソフトウェアマニュアルをご参照ください。

◯ LAN ポートの設定とステータス
初期状態から「ENT」ボタンを 2 回押すと下の両面が表示されます。

LAN1 Setup
*Manual

二段目には選択可能なオプションが表示され Up.Down ボタンで選択できます。
A.「Manual」- IP アドレスの設定は手動で設定します。
B.「Auto: DHCP」-DHCP サーバより IP アドレスを取得します。

項目の手前に「*」印が表示されている場合、それが現在選択されている設定を意味します。

「Manual」を選択している場合、以下のようにサブメニューが表示され「ENT」キーを押して設定変更画面に移行できます。

LAN1: IP
192.168.1.10

LAN1: Mask
255.255.255.0

LAN1: Gateway
192.168.1.254

一段目にポートの設定が表示され、二段目には対応する情報が表示されます。
選択している場所が点滅して表示されます。1 桁ずつ「Up」ボタンと「Down」ボタンを使用して正しい番号を設定し、確定する場合は「ENT」キーを押してください。
最後の文字の入力が完了したら、設定を反映して終了するかキャンセルするかを選択するために「Are you save?」と表示されます。

LAN1: IP
Are you save?

選択するには「ENT」ボタンを、中止するには「ESC」ボタンを押します。

仮に「Via DHCP server」を選択した場合、

LAN1 Setup
To enable DHCP?

ここで、「ENT」ボタンを押すと、設定が確定します。
「ESC」ボタンを押すとキャンセルします。

LAN1 enable DHCP
Succeeded!

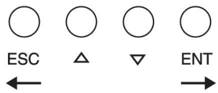
LAN1 は DHCP サーバ経由で IP アドレスの取得に成功しました。

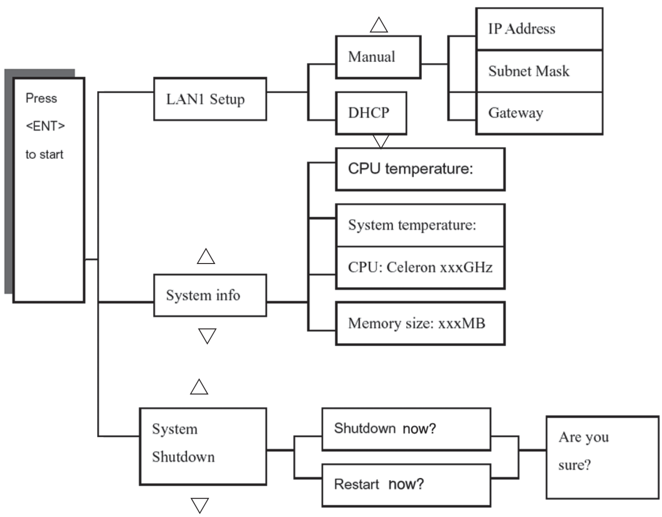
LAN1 enable DHCP
Failed!

上記のような表示された場合 LAN1 は DHCP サーバが利用できないか、NAS のシステムエラーにより、DHCP サーバ経由での IP アドレスの取得に失敗ています。ネットワーク接続などを確認してください。

LAN1 enable DHCP
Failed!

○ LAN ポートの設定とステータス





第２章　装置の設置と使い方

⚠ よりよくお使いいただくために

　本製品とシステム装置やハブ等のネットワーク機器を接続する際には、指定および制限事項を確認の上ご使用ください。指定および制限事項を考慮しなかった場合、ネットワーク環境全体の伝送能力に問題が生じるおそれがあります。

２．１　設置上の注意

2

設置場所

○本製品の設置条件は以下の通りです。

項目	動作時	非動作時
温度	+10℃ ～ +35℃	-20℃ ～ +50℃
相対湿度	20% ～ 80%	20% ～ 80%
塵埃	一般事務室条件を許容	

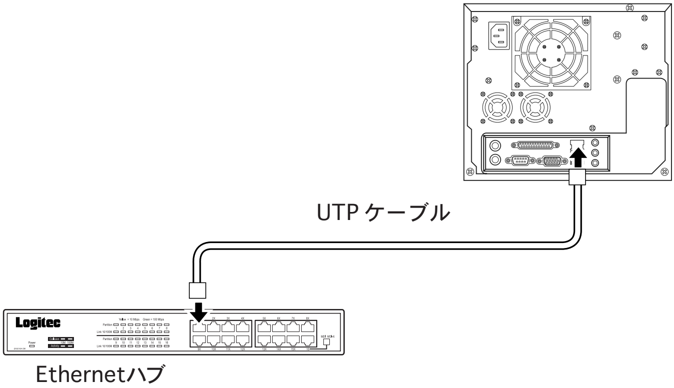
○次のような場所には設置しないでください。

・直射日光のあたる場所
・温湿度変化の激しい場所
・電気的ノイズを発生する機器の近く（モーターの近くなど）
・強磁界を発生する機器の近く（ラジオなど）
・ごみ、ほこりの多い場所
・振動の多い場所
・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）や塩分を多量に含む空気が発生する場所
・周囲が密閉された棚や箱の中などの、通気が妨げられる場所
・不安定な場所

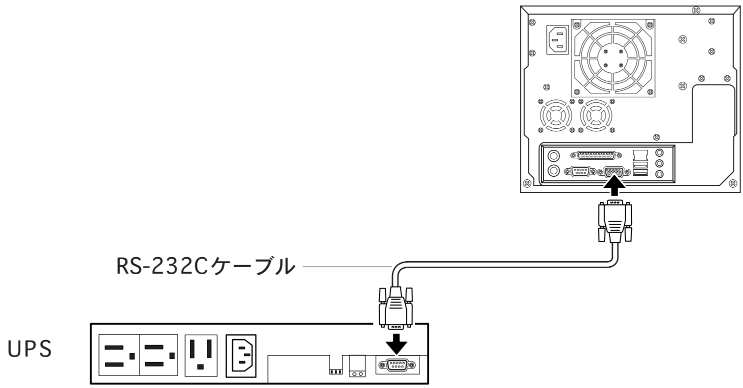
2．2　接続について

本製品の接続は以下の手順で行ってください。

①UTP ケーブルを使用して、本製品背面の LAN ポートと Ethernet ハブを接続します。

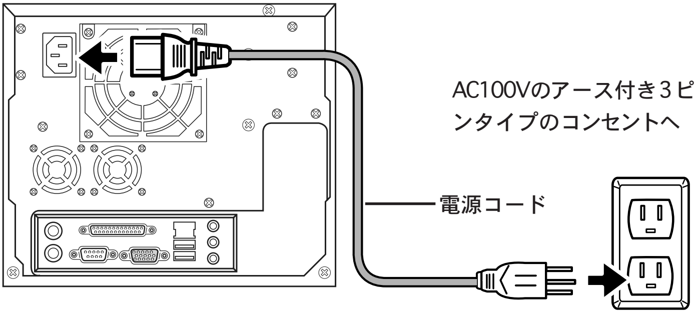


②UPS（無停電電源装置）を使用する場合は、UPS メーカーから提供されている別売のUPSケーブルで本製品のシリアルポートとUPSのシリアルポートを接続します。UPSの設定方法については、UPS付属のマニュアルおよび、本製品のソフトウェアマニュアルをご参照ください。

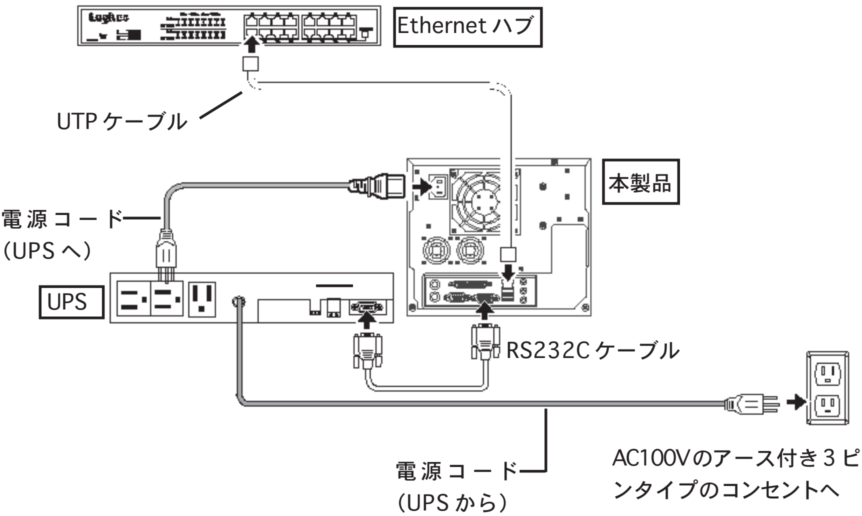


※対応する UPS は「4．3　動作確認済み UPS」をご参照ください。

③付属の電源コードを本製品背面の電源コネクタに接続します。電源コードはAC100Vのアース付き３ピンタイプのコンセントに接続してください。（UPSを使用する場合は、UPSのコンセントに接続します）
接続が完了したら前面の電源スイッチをONにして本製品を使用することができるようになります。

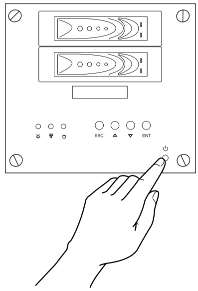


以上で接続は終了です。全体の接続図は以下のようになります。
（UPSへ接続した場合の例）



２．３　電源の投入と切断

■電源の投入



①背面の電源スイッチをONにした後、本製品前面の電源ボタンを軽く１回だけ押してください。

②電源表示ランプが点灯し、システムが起動するまで液晶パネルに「System Booting」と表示されます。



しばらくすると液晶パネルに右のように表示され、システムの起動が完了します。

③液晶パネルに本製品のサーバ名とIPアドレス表示されます。本製品の管理・設定の際はIPアドレス等をこの液晶パネルでご確認ください。

■電源の切断

本製品の電源をOFFする場合は、管理ツール（WebUI）または前面の操作ボタンから行ってください。管理ツールからシャットダウンを行うと、約２分後に自動的に電源が切れます。管理ツールの使い方はCD-ROMに保存されている「ソフトウェアマニュアル（PDF)」をご参照ください。
前面の操作ボタンから電源をOFFにする場合は「ENT」ボタンを１回押し、▽ボタンを２回押し「System Shut down」を表示させます。次に「ENT」ボタン１回押し、「Shut down now?」と表示されたら「ENT」ボタンを押します。
「Are you sure?」と表示されるのでもう１回「ENT」ボタンを押します。

ご注意

本製品の電源を切る場合には、必ずインターネットブラウザの管理ツールまたは、前面操作ボタンから行ってください。管理ツールからシステムをシャットダウンせず、システムが稼動している状態で強制的に電源をOFFにするとシステムに障害が発生したり、内蔵のハードディスクドライブに異常が発生したり、データが破損する可能性があります。

２．４　管理 Web UI へのアクセス

本製品の管理、設定はインターネットエクスプローラを利用して「Web UI」と呼ばれる管理画面から行います。初期設定のためにまずは Web UI へアクセスします。

■LogitecHostExplorerの起動

クライアントパソコンに本製品に付属の「サポートディスク（CD-ROM)」を挿入します。しばらくするとランチャーが起動しますので、「LogitecHostExplorer」をインストール後、「スタート」－「(すべての)プログラム」－「Logitec Host Explorer」－「Logitec Host Explorer」と選択して起動してください。
アクセスソフトおよび管理画面の操作方法は CD-ROM に保存されている「ソフトウェアマニュアル（PDF)」をご参照ください。ソフトウェアマニュアルは付属の「サポートディスク（CD-ROM)」をセットして起動するセットアッププランチャーより、ソフトウェアマニュアルのアイコンを選択して、「マニュアルの参照」ボタンをクリックして参照します。

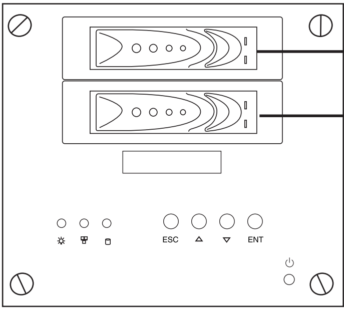
第３章　ディスク障害からの復旧

　ディスクに障害が発生した場合は、本章でご説明する手順にて、障害の発生したディスクを別売のスペアドライブと交換することができます。

３．１　障害発生時の警告について

　本製品内蔵のハードディスクドライブに障害が発生すると、以下のような警告が行われます。

障害発生したハードディスクがドライブトレイのディスクステータスLED（下）が赤色に点灯します。



ディスクステータス LED
障害が発生したドライブトレイのLEDが赤色に点灯します。

3

Point ポイント

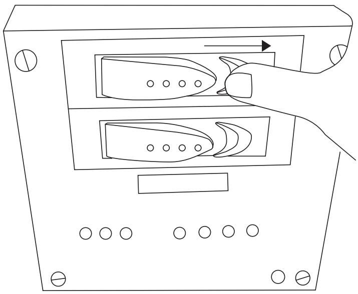
・可用性向上のため、あらかじめスペアドライブ（別売り）をご用意していただくことをお勧めします。スペアドライブについては第４章の「４．２　オプション品について」をご参照ください。

３．２　ハードディスクドライブの交換手順

本製品内蔵のハードディスクドライブに障害が発生したら、以下の手順で新しいスペアドライブ（別売）に交換してください。（スペアドライブについては第４章の「４．２　オプション品について」をご参照ください。）

作業はすべて、本製品の電源がONになっている状態で行ってください。

①障害が発生したドライブトレイ（ディスクステータスLEDに赤いランプが点灯しているドライブ）のラッチを右にスライドして　ロックを解除してください。



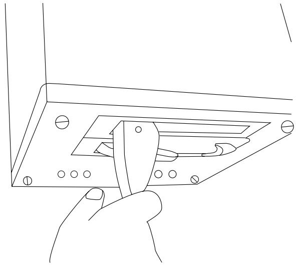
ご注意

・正常に動作しているハードディスクドライブを取り外すと、データは失われます。最初に必ず、どのハードディスクに障害が発生しているかを確認してください。

・スペアドライブに交換する際、交換しない方の正常なドライブを必ずロックしておいてください。本製品では、先にロックされたドライブがソースドライブとなりもう一方のドライブがバックアップドライブとなります。

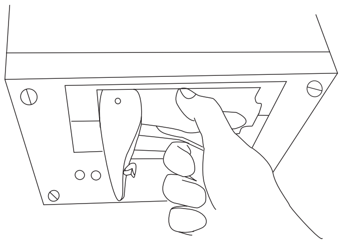
・データの再構築中に正常なドライブのロックを解除しないでください。故障の原因となります。

②ハンドルを静かに手前に引きトレイを少し引き出します。

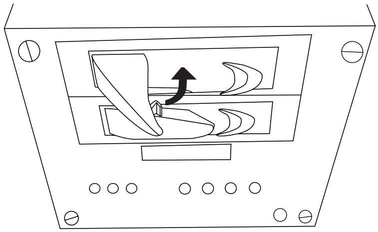


③図のようにトレイを手前に引き、完全に抜き取ります。

3



④交換用のスペアドライブをハンドルが出ている状態でしっかりと奥まで挿入し、ハンドルをロックします。



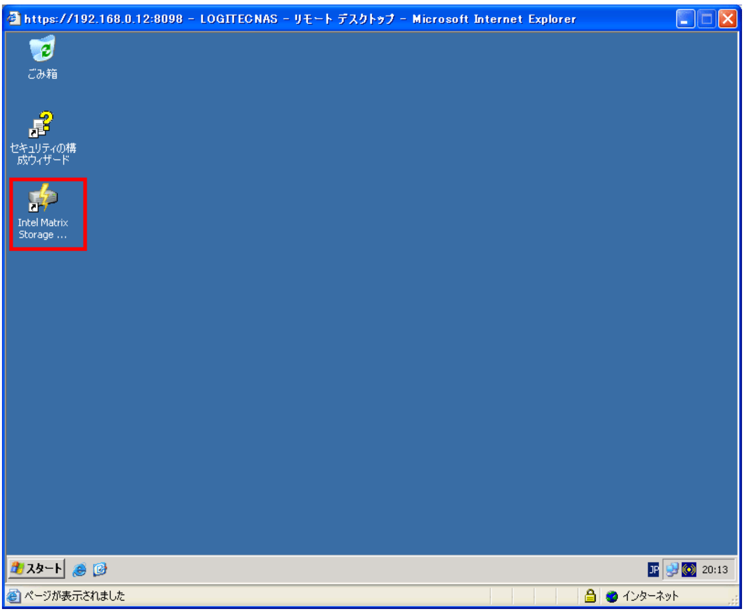
⑤次に新しくセットしたスペアドライブを認識させ、ミラーリング構成を再構築（リビルド）します。
次頁の「3.3 リビルドの実施」に沿ってリビルド作業を行ってください。

３．３　リビルドの実施

ご注意

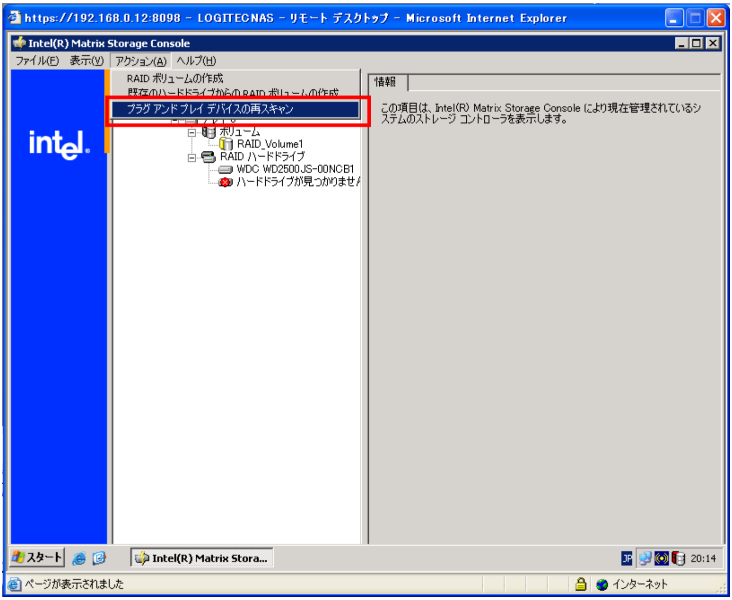
本製品は、オートリビルドに対応しておりません。
故障したハードディスクを交換した後に以下の手順にて必ずリビルド作業を行なってください。

① NAS の管理 Wed UI を開き「メンテナンス」メニューから「リモートデスクトップ」を開きます。
※管理 Wed UI へのアクセス方法は「2.4 管理 Wed UI へのアクセス」を参照してください。
② 次に、以下の「Intel Matrix Storage･･･」アイコンをクリックします。



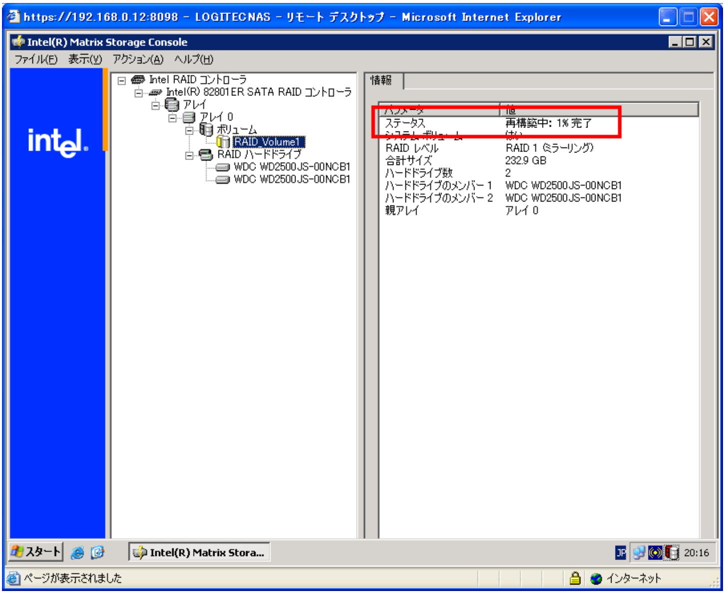
３

③ 次にメニューから「アクション」-「プラグアンドプレイデザイスの再スキャン」をクリックします。
以上でリビルド作業が開始されます。
リビルド中は、ディスクステータスが、激しく点滅します。



3

④「Intel RAID コントローラ」-「 Intel(R)828101ER SATA RAID コントローラ」-「アレイ」 -「アレイ 0」-「ボリューム」とクリックし画面右側の 情報の ステータス項目にてリビルド状況を確認することが出来ます。



リビルド時間の目安

LSS-MR500W　約 160 分
LSS-MR400W　約 150 分
LSS-MR300W　約 100 分
LSS-MR250W　約　90 分
※表記の時間は、あくまでも目安です。
　ご利用の環境等により異なる場合があります。

重要なご注意

リビルド中は、絶対に本体の電源を落としたり、ハードディスクドライブを取り外さないでください。リビルド中もファイルへのアクセスは可能ですが、パフォーマンスが落ちる場合があります。

第４章　補足事項

４．１　保守契約サービスのご案内

弊社では通常の修理やテクニカルサポートの他に別売オプションにて保守契約サービスを行っています。

■オプションオンサイト保守パック

オプションにて、購入後、最長５年までのオンサイト保守をご契約いただけます。
※購入価格については下記お問い合わせ先までおたずねください。

保守パック	期間	内容
SB-LSSMR-HP-01	1年間	LSS-MRW用1年間保守パック
SB-LSSMR-HP-02	2年間	LSS-MRW用2年間保守パック
SB-LSSMR-HP-03	3年間	LSS-MRW用3年間保守パック
SB-LSSMR-HP-04	4年間	LSS-MRW用4年間保守パック
SB-LSSMR-HP-05	5年間	LSS-MRW用5年間保守パック

製品購入後２ヶ月以内に保守パックを購入して、契約を行ってください。

■お問い合わせ／お申し込み

お問い合わせお申し込みは、弊社サービスセンターへご連絡ください。

ロジテック株式会社　伊那サービスセンター
〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268
TEL： 0265-74-1423
FAX : 0265-74-1403

※上記電話番号では技術的なお問い合わせへの対応は行っておりません。テクニカルサポートについては裏表紙をご参照ください。

４．２　オプション品について

弊社では交換用のスペアドライブを別売品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ

http://www.logitec-direct.jp

スペアドライブ型番	容量	内容
SPD-MR500W	約 500 GB	LSS-MR500W 用スペアドライブ
SPD-MR400W	約 400 GB	LSS-MR400W 用スペアドライブ
SPD-MR300W	約 300 GB	LSS-MR300W 用スペアドライブ
SPD-MR250W	約 250 GB	LSS-MR250W 用スペアドライブ

４．３　動作確認済み UPS

弊社では、以下の UPS について動作確認を取っております。これらの UPS についてはロジテックダイレクトでは取り扱っておりませんので、お求めになる場合は直接販売店にお問い合わせください。

メーカ	製品名	製品型番
APC	Smart-UPS	SU500J
		SU700J
		SU1000J
		SU1400J
オムロン	BXシリーズ	BX50FW
		BX75SW
	BNシリーズ	BN50XS
		BN75XS
		BN100XS
		BN140XS
		BN100XR
		BN150XR
		BN240XR

※ APC 社製 UPS を使用するために、下記型番の Interface Kit が必要な場合があります。

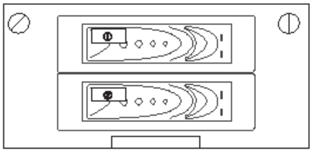
メーカ	製品名	製品型番
APC	Interface Kit	AP9824LJ (UPSケーブル)
オムロン	接点信号入出力カード	SC05

ご購入するUPSによってはInterface Kitが標準で付属しているものもあります。詳しくは、UPS 製造メーカーまたは、ご購入される販売店までお問い合わせください。

４．４　その他

■ハードディスク識別シールについて

本製品にはハードディスク識別シールが付属しております。ご使用の際は、以下の場所に該当する番号のシールを貼り付けてご使用になることをお勧めします。



※上側に Disk1、下側に Disk2 のシールを貼ってください。

4

ハードウェア仕様

型番			LSS-MR250W	LSS-MR300W	LSS-MR400W	LSS-MR500W
ドライブ数			2			
対応RAIDレベル			1			
筐体タイプ			BOX型			
冷却ファン			有り			
システム障害回避機能			RAID 1（ミラーディスク）			
データ障害回復機能			RAID 1 構成			
障害通知機能			LCD,LED,警告音			
管理機能			Web ベースのリモート管理			
登録可能ユーザ数			無制限			
登録可能グループ数			無制限			
同時アクセス可能数			無制限（推奨 30）			
対応ネットワーク	プロトコル		TCP/IP, AppleTalk			
	ファイルシステム		CIFS(SMB), AFP, NFS			
	インターフェース		1000BASE- T / 100BASE- TX			
	ポート数		1（AUTO MDI/MDI-X）			
外部ポート	シリアル		D-sub 9ピン × 1（UPS 接続用）			
搭載OS			Microsoft Windows Storage Server 2003			
CPU			Intel Celeron D 2.4GHz			
メモリ			512MB			
環境条件	動作時	温度	10℃ ～ 35℃			
		相対湿度	20% ～ 80%			
	保管時	温度	-20℃ ～ 50℃			
		相対湿度	20% ～ 80%			
発熱量			334.8 KJ/h			
入力電圧			AC 100V ± 10%			
消費電力(TYP)			93W			
エネルギー消費効率			0.01W/MTOPS			
保証期間			パーツ保証　3年			
外形寸法　幅 × 高さ × 奥行き			226×202×330mm			
質量			7.5 kg			
設置方法			水平			

Logitec

修理依頼書

オンサイト保守期間を過ぎて故障が発生した場合は、下記項目にご記入いただき、製品に添付して修理をご依頼ください。

【製品をお送りいただく際のご注意】

- 検査のために内部データは全て削除されますので、製品内部に保存されているデータは予めバックアップを行った上で弊社へご発送くださいますようお願い申し上げます。
- 本製品は電子精密機器ですので梱包の際に緩衝材を使用するなどの処置を行わないと運送時の衝撃により故障する可能性があります。発送の際は、なるべくご購入時に本製品が梱包されていた外箱および緩衝材等を使用して本製品を梱包しお送りください。
- 修理依頼品を発送する際は、正確な状況把握のために付属品の添付をお願いいたします。
- 弊社ではデータの復旧は行っていません。また、修理期間中の代替機はございません。
- 発送時の送料は、お客様ご負担にてお願いいたします。

お名前：	
ご住所：〒　　　－ 電話番号：　　（　　）　　　　FAX番号：　　（　　）	

製品名：	製造番号：
保証書添付：　有　　無	
添付品	

ご依頼内容
（できるだけ詳しくご記入ください：書ききれない場合は別紙へ続けてご記入願います。）

ご使用環境

ご使用パソコン	：
本製品以外の接続機器	：
OS	：

■保証書とサービスについて

本製品には、保証書が添付されています。

○保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

○保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

■お問い合わせについて

弊社ではお客様からのお問い合わせの窓口を用意しています。製品に対する技術的なご質問、取扱説明書に対する質問等は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。なお、回線が混み合いご迷惑をおかけすることもございますので、そのような時には、FAXまたはお手紙にてお願い致します。その際、ご使用の環境と状態をなるべくくわしくご記入ください。特にご連絡先の電話番号は必ずご記入ください。

ご注意： 電子メールによるサポートは行っておりません。文書でお問い合わせをいただく場合には、必ず電話番号／FAX番号をご記入ください。

※お問い合わせ先

弊社テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

TEL.0570-050-060　　FAX.0570-033-034

受付時間　9:00〜12:00、13:00〜18:00
月曜日〜金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

※携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）、ひかり（光）電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

※間違い電話が多くなっております。お問い合わせの際は番号をよく確認して、上記の番号へおかけください。

Logitec　ネットワーク・ストレージ・システム　ハードウェアマニュアル

２００６年　７月初版　LSS-MRW V01

製造元：ロジテック株式会社

LSS-MRW　V01

ロジテック株式会社
http://www.logitec.co.jp/